



松江市HP

松江市には、古代出雲の繁栄を物語る豊富な遺跡群や、神々を祀る神社があり、出雲神話に因んだ祭礼が伝統的に行われています。また、松江城を中心として近世に形成された城下町が良く残り、茶の湯文化が息づくほか、鬻行列やホーランエンヤなどの伝統行事も行われ、一体となって良好な歴史的風致を形成しています。

神在祭と佐陀神能に見られる歴史的風致

出雲地方では、毎年旧暦の10月が「神在月」とされています。佐太神社では、古式ゆかり「神在祭」が行われるほか、出雲神楽の源流となった佐陀神能が受け継がれています。重要無形民俗文化財に指定されている佐陀神能は、ユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されています。



佐太神社

佐陀神能

茶の湯文化に見られる歴史的風致

松江の茶の湯文化は、松江藩松平家7代藩主治郷(不昧)の時代に基礎が築かれました。現在でも不昧好みの茶室が残り、焼き物や和菓子などの伝統工芸・文化が受け継がれています。



菅田庵

楽山焼

鬻行列に見られる歴史的風致

鬻行列は、正月の左義長行事にルーツを持つ伝統行事です。旧城下町エリアには、31の保存団体がおり、毎年秋には伝統的なまちなみの中で鬻を叩きながら行列が練り歩いて、城下町の風情を伝えています。



鬻行列

美保関のみなと文化に見られる歴史的風致

美保関町には、美保神社を中心に、中世以降海運で栄えたまちなみが良く残っており、国譲り神話に因んだ祭礼が今も受け継がれています。



美保神社

青紫垣神事

堀川に見られる歴史的風致

松江城の築城時に造られた掘割りは、江戸時代から水運の要として機能していました。堀端では水運を利用した産業や、人々の生活が営まれ、酒造蔵や染物屋、堀に降りる石段に往時の風情がしのばれます。



堀端に降りる石段

宍道湖、佐陀川に見られる歴史的風致

宍道湖と江戸時代に開削された佐陀川は、水運と豊かな水産資源によって人々の暮らしを支えてきました。四季折々の美しい自然が人々の親しみの場となり、伝統産業であるシジミ漁の風景は、昔ながらの松江の面影を伝え続けています。



佐陀川でのシジミ漁

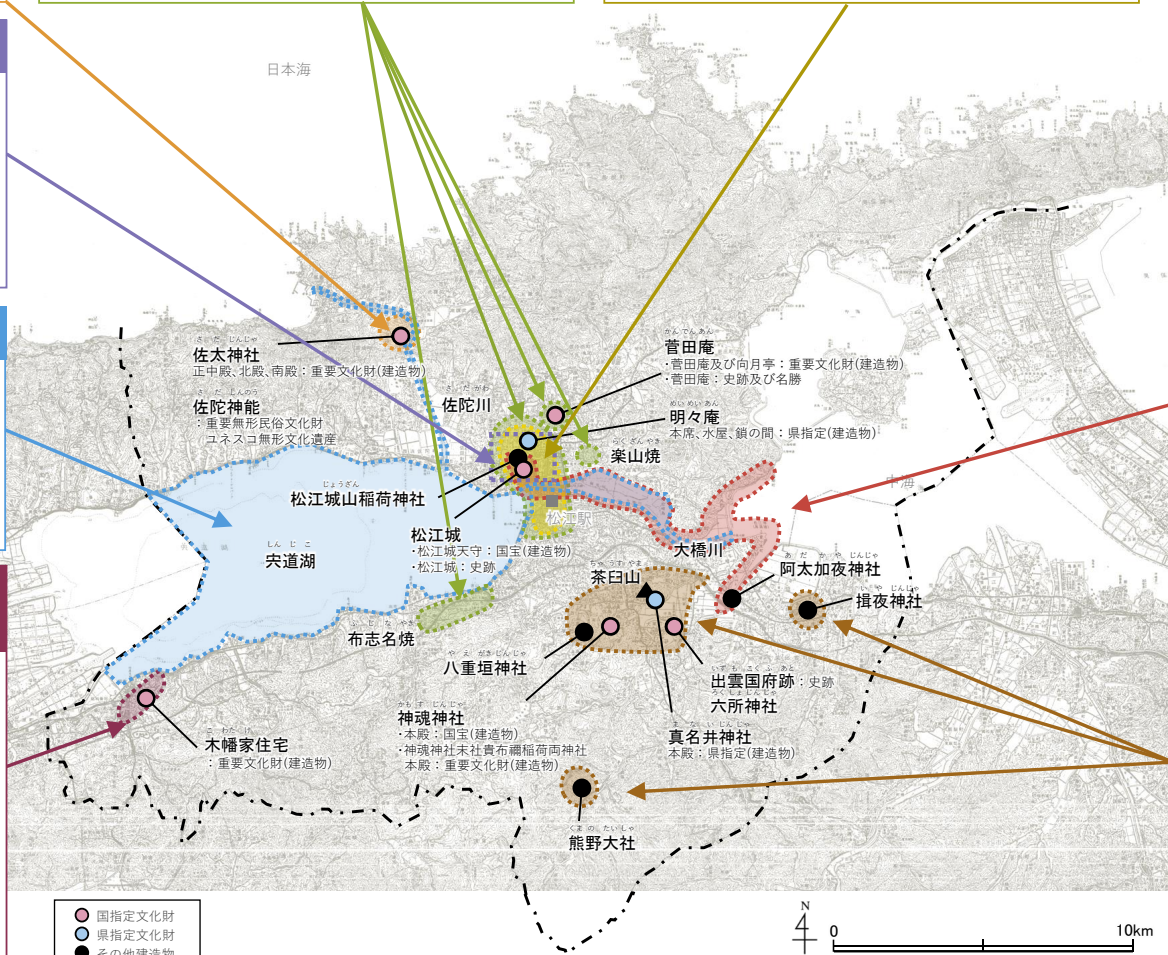
近世山陰道沿線の宿場町に見られる歴史的風致

宍道町には、近世山陰道沿線に江戸時代に本陣とされた木幡家住宅と、当時の宿場町の町割りが残っています。毎年7月には蓮華祭の神輿行列が練り歩いて、かつての宿場町の繁栄をしのばせています。



木幡家住宅

蓮華祭



ホーランエンヤに見られる歴史的風致

ホーランエンヤは、松江城山稲荷神社の神霊を、船で阿太加夜神社へ運び、豊作や繁栄を祈って選んでくる式年神幸祭です。大橋川などで練り上げられる権伝馬踊りは、5つの地区で受け継がれ、市の無形民俗文化財に指定されています。



ホーランエンヤ権伝馬踊り

出雲国府跡周辺に見られる歴史的風致

『出雲国風土記』に「神名槌野」と記載された茶臼山の山麓には、糸里制区画が残る田園風景が広がり、出雲国府跡などの遺跡群が保存されています。また、意宇六社と呼ばれる神社では、出雲国造家に縁のある伝統的な祭礼が受け継がれています。



出雲国府跡

神魂神社 本殿

松江市の重点区域における施策・事業概要①

1. 旧城下町エリア:約402ha
2. 国府跡周辺エリア:約658.1ha
3. 美保関エリア:約107.5ha
4. 鹿島エリア:約36.8ha
5. 宍道エリア:約17.8ha

松江市の歴史的風致の維持向上を重点的に取り組むエリアを5箇所に設定し、各種計画と連携して歴史まちづくりを推進します。

旧城下町エリア (約402ha)

城下町「松江」を語る歴史的建造物や、伝統的なまちなみの保全と、伝統行事、茶の湯文化等の人々の活動を維持向上させるエリアです。

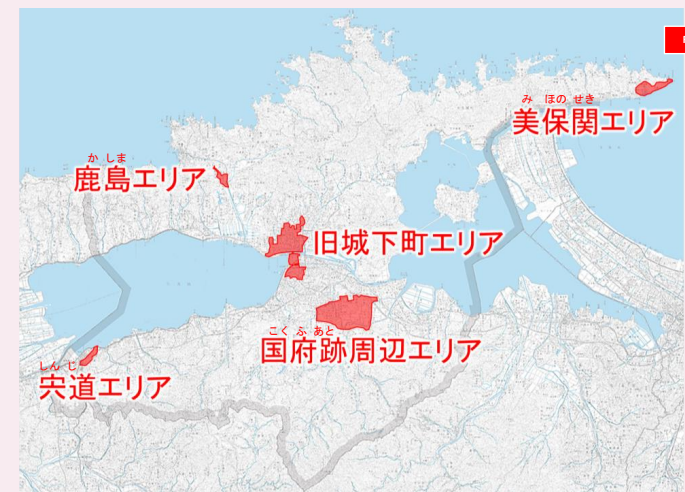
施策の基本方針

- ① 歴史的建造物の積極的な保存と活用を図ります。
- ② 歴史的建造物の周辺環境の整備を推進し、良好な景観の保全を図ります。
- ③ 歴史的風致を形成する伝統行事等の伝統文化の継承・育成を図ります。
- ④ 歴史的なまちなみの魅力を向上させて、まち歩き観光の充実を図ります。

【良好な景観の形成に関する施策との連携】

歴史的景観に配慮した地区計画の導入、松江市景観計画および松江市屋外広告物条例とも連携を取り、良好な景観の誘導を図ります。

重点区域分布図



5つのエリアを中心に全市で取り組む事業

歴史的建造物保全継承事業 (H26年度～R11年度)市単独
歴史的まちなみを構成する歴史的建造物を保全・活用し、観光振興や地域の活性化に繋げていきます。

歴史・文化のまちあるき案内板設置事業 (H21年度～R11年度)市単独
まち歩きルートや、町名の由来などの説明板を設置して、まち歩き観光の推進を図ります。

松江城授業プロジェクト (H28年度～R11年度)市単独
市内の小学6年生を対象に、松江城及び松江歴史館の見学を通じて、地域に対する愛着と誇りの醸成を図ります。

松江市ふるさと文庫等製作事業 (H17年度～R11年度)市単独
市民に分かりやすく松江の歴史を紹介する、ふるさと文庫の出版を行います。

出前講座「松江藩ちゃの的学校」 (H30年度～R11年度)市単独
気軽に茶の湯に触れる機会を提供し、茶の湯文化の継承・発展を図ります。

松江・歴史文化まちづくり推進事業 (H23年度～R11年度)市単独
住民発意による、まちづくりに関する提案事業を官民協働で取り組みます。

国宝松江城天守耐震対策事業 (H29年度～R2年度)文化庁補助
震度6強の大地震に耐え得る補強等について、文化庁や有識者の指導のもと文化財的価値を損なわないよう最小限の範囲で行いました。

史跡小泉八雲旧居土塀修理事業 (R2年度～R3年度)文化庁補助
毀損し倒壊の恐れがある塩見繩手沿いの土塀を修理し、見学者及び通行人の安全確保を図るとともに、貴重な歴史的資源を後世に継承します。

北惣門橋改架事業 (R3年度～R4年度)社交金(街なみ環境整備)
損傷が目立つ状況にある北惣門橋を江戸期の絵図などを参考に当時の姿を感じられるように整備します。

千鳥橋改架事業 (R2年度～R3年度)社交金(街なみ環境整備)
損傷が目立つ状況にある千鳥橋を江戸時代の絵図などを参考に、近世城下町の風情を感じられるよう整備します。

史跡松江藩主松平家墓所整備事業 (H30年度～R11年度)文化庁補助
毀損している建造物を復旧するなどの整備を行い、松江藩の歴史を物語る貴重な史跡の保存活用を図ります。

カラコロ工房耐震対策事業 (R2年度～R5年度)地域防災拠点建築物整備事業
耐震・老朽改修設計を行い、利用者の安全確保を図るとともに、中心市街地のまちづくりの重要な施設として整備します。

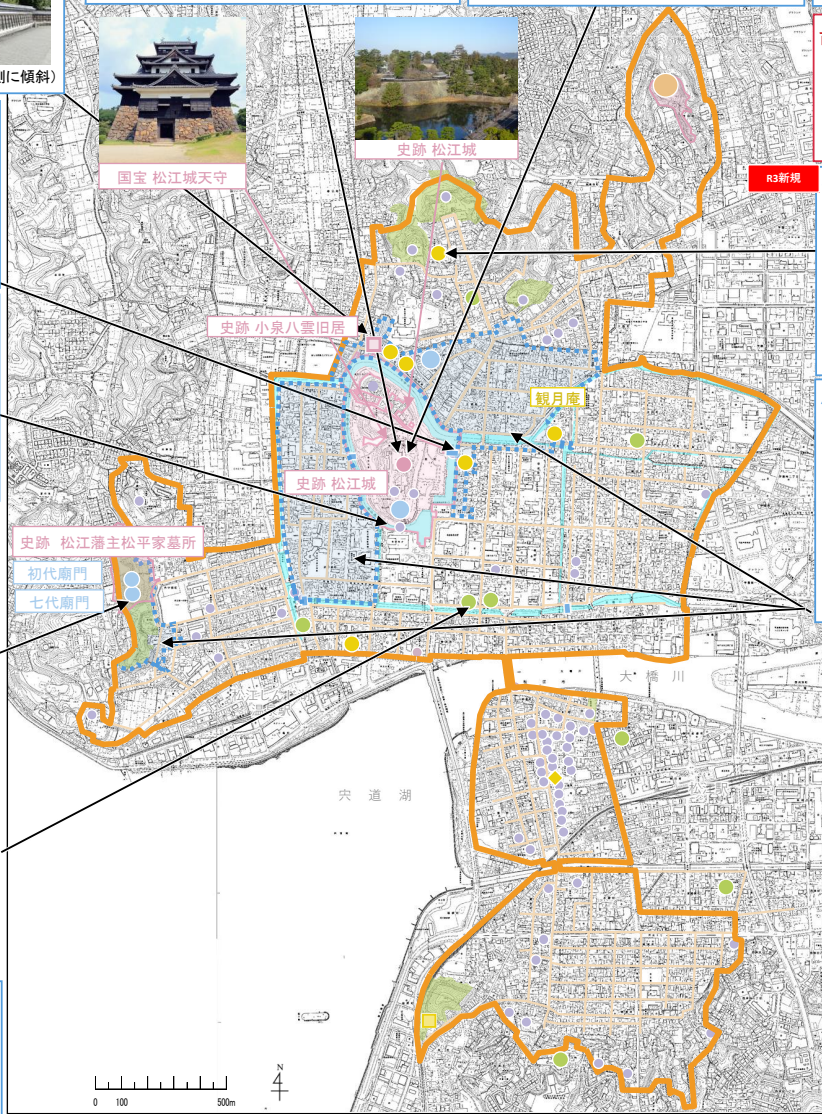
堀川沿線「八百八橋づくり」推進事業 (H23年度～H26年度)市単独
(H27年度～R1年度)防災・安全交付金(道路事業)
(R2年度)道路メンテナンス事業
(R3年度～R4年度)社交金(街なみ環境整備)
堀川に架かる橋梁を、改修とあわせて城下町の風情に見合ったデザインに整備します。

国宝松江城天守防災施設等整備事業 (R2年度～R3年度)市単独 (R4年度～R6年度)文化庁補助
ノートルダム大聖堂や首里城跡の火災の発生状況を鑑み、国宝松江城天守の防火に係るソフト・ハード対策を抜本的に見直します。

現況：天守5階のスプリンクラー設備

史跡松江城石垣修理事業 (H13年度～R8年度)文化庁補助
石垣調査を行いながら、崩落危険性のある箇所の石垣修理を行い、往時の姿を再現します。

松江城調査研究事業 (H21年度～R11年度)市単独
国宝松江城天守だけではなく、城郭、城下町全体について調査研究を行い、その学術的価値の向上に努め、最新かつ正確な研究成果を、広く市民に対して発信していきます。



市指定文化財(建造物)観月庵及び待合保存修理事業 (R2年度)市単独
経年劣化が目立つようになった茅葺屋根を中心に維持修理を行いました。

市指定文化財(建造物)田原神社随神門保存修理事業 (R3年度～R4年度)市単独
前回の修理から50年以上経過し老朽化が進む檜皮葺屋根を保存修理する事業へ補助を行います。

伝統美観保存区域等修景事業費補助金 (S48年度～H22年度)市単独 (H23年度～R11年度)社交金(街なみ環境整備)
松江市景観計画に定める景観計画重点区域において、景観形成基準に沿った修景工事に対する補助を行います。

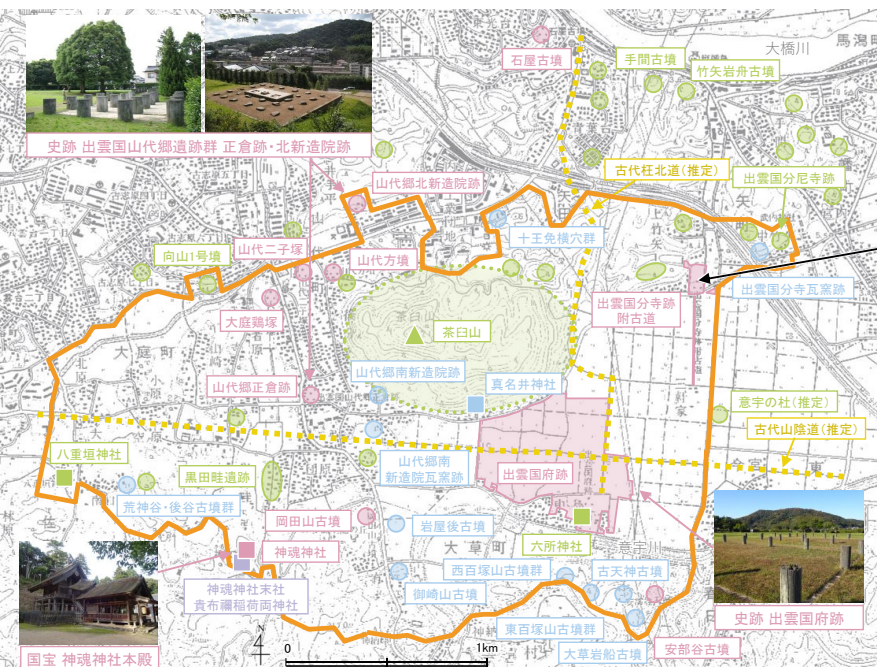


松江市の重点区域における施策・事業概要②

- 1. 旧城下町エリア:約402ha
- 2. 国府跡周辺エリア:約658.1ha
- 3. 美保関エリア:約107.5ha
- 4. 鹿島エリア:約36.8ha
- 5. 宍道エリア:約17.8ha

国府跡周辺エリア (約658.1ha)

古代「出雲」を物語る歴史的建造物や遺跡の保全と、周辺環境の整備、意宇六社等で行われる伝統的な行事を維持向上させるエリアです。



出雲国分寺跡国史跡 指定100周年記念事業 (R3年度)市単独

史跡出雲国分寺跡は、古代出雲の繁栄を物語る古墳や奈良時代の出雲国府跡、さらに国造家に関連の深い神社などとともに、古代出雲を感じさせる歴史的空間を構成する要素となっている。これら史跡を広く紹介することで、史跡と一体となった歴史的空間の魅力を発信し、歴史的空間の保全に対する意識の向上を図ります。

- 重点区域
- 国宝 (建造物)
- 重要文化財 (建造物)
- 県指定 (建造物)
- 未指定歴史的建築物
- 国指定 (史跡)
- 県指定 (史跡)
- 未指定の遺跡

鹿島エリア (約36.8ha)

佐太神社を中心に行われる神在祭や佐陀神能を取り巻く良好な環境を維持向上させるエリアです。



佐陀神能舞殿保存修理事業 (R1年度～R3年度)文化庁補助

「佐陀神能」の舞台となる舞殿は、建築後40年近くが経過し、風雨などの影響により経年劣化があるため、老朽箇所を改修・復元し、佐陀神能の価値をさらに高めます。

重要文化財佐太神社防災施設整備事業 (R3年度～R4年度)文化庁補助

自動火災報知設備、防犯設備、消火設備、避雷針設備工事を実施し、大切な重要文化財を守ります。

佐陀神能用具等修理・新調事業 (R1年度～R3年度)文化庁補助

「佐陀神能」で使用している用具(衣裳・面・楽器等)の劣化が激しいため、修理・復元に向けた調査を行い、その調査結果をもとに用具を修理・新調し「佐陀神能」の価値をさらに高めます。

美保関エリア (約107.5ha)

みなと文化を物語る歴史的建造物や、まちなみの保全、国譲り神話に因んだ行事等、人々の活動を維持向上させるエリアです。



【特記】歴史的建造物保全継承事業 (H26年度～R11年度)市単独

歴史的建造物が連続性をもってまちなみを形成しているエリアであるため、「松江市歴史的建造物の保全継承及び活用に関する条例」に基づき、重点的に建造物の調査及び保全活用を行っています。

- 重点区域
- 重要文化財 (建造物)
- 登録有形文化財 (建造物)
- 美保神社の境外末社

宍道エリア (約17.8ha)

近世山陰道沿線に形成された宿場町に見られる歴史的建造物や伝統的なまちなみの保全と、伝統的な行事等、人々の活動を維持向上させるエリアです。



重要文化財木幡家住宅新蔵ほか3棟保存修理事業 (R1年度～R4年度)文化庁補助

宍道エリアの中核をなす木幡家住宅(八雲本陣)の保存修理工事を実施し、近世山陰道沿線に見られる歴史的風致を向上させます。